

Ⅱ 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 美術講演会

期 日	会 場	講 演 名	講 師	内 容	参加人数
19・5・12	アルスホール	川上澄生の芸術	竹山博彦(美術評論家)	川上澄生の芸術世界について、地元研究者ならではのエピソードを交えて解説した。	44
19・5・20	講座室	妖精の図像学	井村君江(妖精学者)	川上澄生作品のモチーフ、人と芸術について、妖精学の立場から解説した。	35
19・8・4	アルスホール	素材×技術から フォルムへ	久保田繁雄(織り作家) 福本繁樹(染め作家) 橋本真之(金属造形作家) 外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	素材や技術の違いを越えて共通する造形思考、工芸の発想について作家・学芸員の立場から討論した。	116
20・2・16	講座室	世界の美術事情・ 工芸事情	福本繁樹 (染色家・大阪芸術大学教授) 外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	米国・英国・中国・韓国・マレーシア等、海外の美術事情工芸事情について作家と学芸員の立場から紹介、意見交換した。	36
合計					231

(2) ギャラリートークなど

期 日	会 場	講 演 名	講師・出演者	内 容	参加人数
19・5・5	展示室	ギャラリートーク	舟木力英 (つくば美術館分館長)	川上澄生展について、展覧会担当学芸員が新知見を含め、列品解説した。	37
19・5・20	展示室	ギャラリートーク	井村君江 (妖精学者)	川上澄生展について、妖精学の立場から解説。また川上澄生の教え子としてのエピソードなども披露した。	32
19・7・27	展示室	<素材×技術>から フォルム展	外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	小学生の子供たちも日頃見なれない大きな染色作品、金工作品を間近に楽しむ機会となった。	64
19・8・19	展示室	ギャラリートーク	外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	<素材×技術>からフォルムへ展について、展覧会担当学芸員が新知見を含め、列品解説した。	40
19・10・20	展示室	ギャラリートーク 「茨城県近代美術館 コレクションについて」	舟木力英 (つくば美術館分館長) 外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	ダブル・コレクション展について、学芸員それぞれの専門性を生かしながら、対話形式で列品解説した。	37
19・10・21	展示室	ギャラリートーク 「筑波大学所蔵石井 コレクションについて」	齊藤泰嘉 (筑波大学芸術学系教授) 寺門臨太郎 (筑波大学芸術学系准教授)	ダブル・コレクション展について、大学教員それぞれの専門性を生かしながら、対話形式で列品解説した。	32
合計					178

(3) ワークショップ

期 日	会 場	テ ー マ	講 師	内 容	参加人数
19・5・3	筑波大学 版画工房 展示室	キッズアーティスト あつまれ!「版画 ワークショップ」	田島直樹 (版画家・筑波大 学講師)	筑波大学と連携し、木版画・銅版画の制作工 程の違いなどデモンストレーション含め解説 した。	19
19・8・ 11, 12 (2日 間通し)	講座室	キッズアーティスト あつまれ!「藍染め ワークショップ」	福本潮子 (染色作家)	作家自身が用いている藍染め技法の体験を通 して染める行為や染料について理解を深める 機会とした。	のべ34
19・10・13	美術館屋 外展示場	キッズアーティスト あつまれ!「かたち をつくる」	齋藤敏寿 (陶芸家・筑波大 学芸術系准教授)	つくば美術館屋外展示場を生かし、作家自身 の制作工程の一部を体験し「かたちをつくる」 楽しさ難しさを知る機会とした。	17
19・11・11	アルスホール	切り紙ワークショッ プ「もようでつく る part 2」	美術館職員 美術館 ボラン ティア	紙を折って各自自由にハサミを入れ、ひろげ た模様を型紙にして参加者それぞれがエコ バックを製作した。	79
合計					149

(4) 作家と語る

貸しギャラリーでの展覧会場で、作品解説を中心とした作家のギャラリートークやギャラリーコンサートを開催した。

開催日	会 場	展覧会名	タイトル	講 師	参加人数
19・6・23	展示室	シベリア抑留関係展示会	抑留体験の労苦を語り継ぐ集い	須藤富之助、梅沢 正之進、仙波国綱	116
19・9・9	展示室	エリザベス・ロブレス展「木の バラード」	「木のバラード」ダンスパ フォーマンス	エリザベス・ロブ レス、唐沢優江	42
19・9・ 15, 16	展示室	小牧幹とその教え子たち展	ミニクラシックコンサート	土浦第一高等学校 弦楽部	のべ196
19・9・15	アルスホール	小牧幹とその教え子たち展	特別講話「わが子を骨太で魅力 ある大人に導くために」	小牧幹	30
19・11・4	展示室	第26回 茗溪学園美術展	ギャラリートーク	舟木力英 (つくば美術館分 館長)	78
19, 11, 16	アルスホール	第1回 テーブルコーディネー ト展「暮らしの真ん中に食卓を」	無料セミナー	田淵弘子	25
19・11・23	展示室	第23回筑波大学大学院修士課程 芸術研究科2年 人間総合科学 研究科前期芸術専攻1年 洋 画・日本画・版画 作品展	日本画領域ギャラリートーク & 講評会	筑波大学日本画領 域担当教員	40
19・11・25	展示室	第23回筑波大学大学院修士課程 芸術研究科2年 人間総合科学 研究科前期芸術専攻1年 洋 画・日本画・版画 作品展	洋画領域講評会	洋画領域講評会	55

開催日	会場	展覧会名	タイトル	講師	参加人数
19・12・2	展示室	第62回県南高等学校連合美術展	講評会	舟木力英 (つくば美術館分館長)	138
19・12・9	展示室	守谷陶芸会「つくば展」	つくば美術館主任学芸員による講評会、審査委員による講評会	外館和子 (つくば美術館主任学芸員) 審査委員	43
19・12・16	展示室	第11回取手松陽美術科展「白面書生～未熟者達のアート～」	ミニコンサート	卒業生を含む4名	70
20・1・5	展示室	第4回筑波大学大学院博士課程芸術学専攻・後期芸術専攻 洋画・日本画・彫塑・書 作品展	書ってこんなに面白い！	外館和子 (つくば美術館主任学芸員) 書専攻出品者3名	34
20・1・6	展示室	第4回筑波大学大学院博士課程芸術学専攻・後期芸術専攻 洋画・日本画・彫塑・書 作品展	洋画・日本画講評会	岡村桂三郎	63
20・1・13	アルスホール	第7回茨城一陽展	現代イタリア彫刻と日本一伝統の創成と継承のありか たをめぐってー	小泉晋弥 (茨城大学教授)	53
合計					983

(5) クロッキーの会

毎月第1火曜日、講座室
モデルを使ったクロッキー会を開催している。
総参加者数 224人

(6) 絵画教室

毎月第3火曜日、講座室
人物画、静物画などのテーマを決めて制作に取り組む。
月1回開催。美術への関心を深めることを目的として実施している。
総参加者数 103人

2 コンピュータグラフィックス（講座室）

講座室内に3つのブースを設置し、臨時職員を指導者として配置している。小学生を中心に幼児から大人まで幅広く利用されている。また、幼児、小学生用の画集や絵本、図工書を備えた書架を設置している。
総利用者数 1,840人

3 ビデオライブラリー（講座室）

2つのブースを設置し、美術史や技法及び作家紹介のソフト、子ども向けのアニメーションソフトを約40巻の中から選択して自由に視聴することができる。

ビデオ内容：美術史、技法、作家紹介、アニメーションなど約350本を所有し、そのうち40本を自由に視聴することができる。

総利用者数 1,307人

4 博物館実習

●概要 博物館法第5条第1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

●参加人数 9人

●実習内容

期 日	演 題	内 容	指 導
7月31日(火)	施設の観察と報告	自己紹介・職員紹介・館内での決まりごと 建物としての美術館はどのようにになっているのか？ 案内なしに、自分で観察し、報告発表する。	舟木
8月1日(水)	館外視察	午前：東京国立近代美術館 午後：東京国立近代美術館工芸館 展示配列法や順路、展示意図などに注意	外館
8月2日(木)	展覧会の実務	展覧会実現の3要件 どのような文書があり、どう作成するか？ 開催要項、借用書、承諾書、ファシリテーターズ・レポート、コンディション・レポート 図録作成の基本と作品研究法 特に搬入開棚時の留意点と貸しギャラリーの問題点	舟木
8月3日(金)	館内備品の取扱と整理 準備室・書庫・収蔵庫	展示備品や図書資料など 高所作業代、ワイヤー、壁面点検、可動パネル、照度計、 温湿度計、点検台	舟木
8月4日(土)	普及活動 午後：シンポジウム	講座室（CG指導） HPの作成・GTの実践・MCの開催法 ボランティア活動・監視体験 広報印刷物の作成：チラシ・ポスター・キャプション・参考パネル・館便り・予定表 特に作成時の留意点と校正の重要性	外館
8月5日(日)	作品の取扱とドキュメンテーション まとめ	作品はどのようにに取扱い、記述されるべきか？ 作品台帳など 作品点検法	外館

●参加大学 和光大学 筑波大学 桜美林大学 東洋大学 東京造形大学 沖縄県立芸術大学 東京工芸大学

5 ホームページ (<http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp>)

●概要 美術館を利用する方の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、美術館の展覧会やイベント案内、貸しギャラリー等の利用案内に係る情報発信を行なっている。

●ページ構成（平成20年3月現在）

1. トップページ

2. インデックス

- ・展覧会のご案内（今週の展覧会の紹介）
- ・美術館からのお知らせ

3. 企画展

企画展一覧

・平成20年度企画展の予定

企画展の紹介 小杉小二郎展

魅惑の像—具象的なるかたち

- ・平成19年度企画展
企画展の紹介 川上澄生展
＜素材×技術＞からフォルムへ
茨城県近代美術館所蔵品展

- ・過去の企画展 平成18年度の企画展の紹介

4. 展示予定

- ・平成20年度展示予定表

- 学芸員だより（当館学芸員が茨城県近代美術館の所蔵品や企画した展覧会などに関連して、日頃から研究している内容を解り易く紹介）
- 展覧会出品作品の解説（展覧会等にちなんで当館学芸員が執筆した作品解説を紹介）
- ニュース（つくば美術館の出来事を紹介）
- 貸しギャラリー
貸しギャラリーの案内
- 絵画教室・クロッキー会の活動予定
- ボランティア活動（今年度の美術館ボランティア活動の内容紹介）
- 地図・案内（美術館までの交通案内と地図）
- 施設紹介（つくば文化会館アルスの紹介と美術館の施設紹介）

●特徴

- 美術館の入口をイメージした表紙をデザインしている。

6 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。平成20年3月現在、74名に配信している。

担当：水家実和子

7 広報印刷物

- 平成20年度展示予定表 平成20年2月27日



つくば美術館ホームページ

2. インデックスのページにコンテンツへのリンクを並べるとともに、現在の展覧会の紹介を一番見やすい位置に設置している。
3. 過去の展覧会の記録にもアクセスすることができる。
4. ホームページの作成を職員自らがを行い、毎週内容を更新している。

- アクセス数 約52,000件

担当：水家実和子



つくば20年度展示予定表